

「第2回酒田沿岸域検討部会（令和4年9月13日）」における

主な意見・質問と対応の方向性

項目	意見・質問（要旨）	対応の方向性（会議での回答含む）	備考
漁業関係	<ul style="list-style-type: none"> 内水面の漁業関係上重要魚種である鮎、鮭、サクラマスについて、想定海域がどこになるか分からないが配慮してほしい。多くの内水面漁協・鮭孵化場が絡んでいるので、これらの意見をまとめていくのは大変と思っている。その点も考慮してほしい。 【県内水連・桂委員】 	<p>⇒ 内水面の漁業関係上の重要な魚種について配慮しながら今後の検討を進めていく。内水面漁業や鮭孵化事業の組合等の意見をお聞きし、検討する上で参考にしたい。 【事務局】</p>	
想定海域関係	<ul style="list-style-type: none"> 漁業者が今後想定海域を決めるといふ点においては、単に2号海域の中で想定海域が決まったということではなく、漁業者の意見の変遷をきちんと絵の中に書き、今の漁業者がどう考えて海域が決まったということが将来の方が分かるような決め方をしていただきたい。 【県漁協・西村委員】 	<p>⇒ 想定海域の設定に向けて、どういふ検討を経て決めたかが分かるような決め方、場所を残すということ意見で頂戴した。今後、検討を進める上で参考にしたい。 (当日回答) 【事務局】</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 先日、組合員を集めて酒田沖の洋上風力について協議を行った。賛成、反対、どちらの意見もあったが、心配だという意見が多く、我々組合員がどのように洋上風力と向き合っていけばよいか話し合った。そこで、想定海域の話になったが、これから漁業者を集めて使っていい場所、だめな場所を決めていきたいと思っている。また、これから洋上風力と向き合っていこうという意見もあったので、これからも丁寧な説明をお願いしたい。 【県漁協・長谷川委員】 	<p>⇒ 山形県漁業協同組合から提示いただいた想定海域(案)について、漁業者や関係者の皆様と情報共有しながら、一緒に研究・検討を進めていきたい。【事務局】</p>	

項目	意見・質問（要旨）	対応の方向性（会議での回答含む）	備考
想定海域関係	<ul style="list-style-type: none"> 想定海域について経済的な視点から、酒田沖で風車設置となった際、陸路の物資運搬等、現在の庄内の交通インフラを考えると脆弱な部分がある。そうなった際に渋滞などをはじめ、地域住民の生活や経済活動が滞るようなことが露見するようなことがあってはならない。また、宿泊施設が多く作業関係者で埋まり、不足することで観光客への供給不足が起こらないように、こちらは、私自身も宿泊事業者として早めに考えていかなければならないと思う。いずれにしても高規格道路等の交通インフラは現段階、検討の段階で並行して進めていかないといけないことだと思う。 【商工会議所・矢野委員】 	<p>⇒ 今後、検討を進める上で参考にしたい。【事務局】</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> 遊佐町沖と酒田市沖の境目について、同じ海域であるが、これまでの歴史を踏まえ内部の協定を結び、ローカルルールの中で漁をしている。遊佐町沖洋上風力の話が出た時に、酒田の漁業者からかなりの反対意見が出たが、議論を重ね、遊佐の海域の事業に関しては、遊佐の漁業者の意見を尊重することになった。そして、遊佐の漁業者も酒田の事業に関しては、酒田の漁業者の意見を尊重することに決めた。そのため、酒田の想定海域に関しても酒田の漁業者の意見を尊重する。 【県漁協・伊原委員】 		

項目	意見・質問（要旨）	対応の方向性（会議での回答含む）	備考
	<ul style="list-style-type: none"> 想定区域の設定手順に示されている4つの項目にどうして入っていないのかというものが1つある。建設の際の話だが、物資の仮置き・積込み・荷下ろしをどこに設定しているか、この資料では分からない。酒田港は、特に北港は広い面積があるが、資材物資が入ると非常に手狭になる。また、組み立ての際には、エプロン舗装になっているが、その地盤の部分が大丈夫なのか、懸念されている。酒田北港の面積や地盤についての調査もバックヤードとして項目に挙げたらいいのではないかと思う。 【西荒瀬コミュニティ振興会・随行・阿彦氏】 	<p>⇒ 実際に実施する際の建設時の意見は、今後必要な内容になるので、今後、議論する時期になったら、しっかりと議論を重ねていきたい。（当日回答）【事務局】</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">想定海域関係</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料3-2に遊佐沖と酒田沖の図があるが、港湾区域の中は航路・泊地等々、港湾機能が優先されるので余裕水面がどれだけあるか十分検討した上でのことになる。今は共同漁業権区域が示されているが、交通量の多い航路を除外した上で、最終的には事業者が決めることではあるけれども、標準的なウィンドファームの区域が想定される事業区域になると思われる。山形県全体として考えると、北の遊佐沖と南の酒田沖の広域的な関係での漁業影響、環境影響、漁業協調、地域共生など、基地港湾的な酒田港の利用も含めて、広域的な視点からの検討も必要である。 将来的に北側の青森県から南側の新潟県までウィンドファームが次々出現してくることを考えると、広域的、複合的、累積的な影響についてもきちんと調べないといけない。地元だけではできないので、国でも考えないといけない。 【海洋産業研究・振興協会・中原委員】 	<p>⇒ 今後、漁業影響、環境影響、漁業協調、地域共生、酒田港の利用も含めた検討を進めるにあたっては、アドバイザーの皆様からのご助言も頂きながら、広域的な視点も踏まえ、地元漁業者の皆様と一緒に考えていきたい。【事務局】</p> <p>⇒ 頂いた意見について、国へ伝えていきたい。【事務局】</p>	

項目	意見・質問（要旨）	対応の方向性（会議での回答含む）	備考
想定海域関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、想定区域（案）を検討していくところ、本日提示された想定海域（案）の設定の進め方について、先行利用者からよく意見を伺うというのは大変重要なプロセスだと思う。その点は最重要視して進めてもらおうとよい。想定海域（案）を設定するにあたり、重要なのは洋上風力の発電エリアとして設置に支障がある場所を明確にすることだと思うが、一方で、洋上風力発電所の設置に当たり、洋上で作った電気を陸側に送る電気の接続先についても見えるとよい。もし計画が実現すれば、陸側にも施設が設置されることになり、工事も発生するので、地域住民に対しても配慮すべき点として、次回以降、留意いただく必要がある。 ・ 想定海域（案）を考える上で港をどうするか念頭に置いておかないといけない。昨年から今年にかけて国土交通省で基地港湾の検討会が開かれており、とりまとめには、洋上風力発電において、輸送の他に、製品自体を組み立てたりすること、海域で建設工事をするために港を使うこと、また、洋上風力発電所の操業開始後、約20年間の運転保守のために港を使うこと等、長期間にわたって様々な港の使い方が記載されている。その点についても、資料として提供されると有用になると感じている。 【日本風力発電協会・斉藤委員】 	<p>⇒ 陸上の接続電源の関係、港湾利用の関係については、もう少し先になると思うが、貴重な意見を頂戴したので、今後、議論の参考になる資料の提供等、今後とも助言をお願いしたい。 （当日回答）【事務局】</p>	

項目	意見・質問（要旨）	対応の方向性（会議での回答含む）	備考
撤去関係	<ul style="list-style-type: none"> 風車が使えなくなったり、事業終了した場合、撤去まで保証していただきたい。 【酒田ふれあい商工会・石黒委員】 	<p>⇒ 実際にこの区域が促進区域となり、事業者の公募が行われた場合の話だが、促進区域公募に当たって、公募占用指針という公募要領に相当するものを作成している。その中に撤去に関する事項を設けており、原則撤去することを前提に、撤去のために必要な段取りを担保する方法や、撤去費用を積み立てる等についても記載してもらっている。これらをきちんと履行できる事業者を選定することになる。また、法定協議会は事業者選定後も続くので、定期的開催される法定協議会で運転状況やきちんと維持管理が行われているか等、撤去も含めた事業全体が履行されるよう常に確認していく。</p> <p>(当日回答) 【資源エネルギー庁】</p>	
安全面等	<ul style="list-style-type: none"> 日本海沖の船舶事故による海洋汚染対策についても重ねて十分な検討をお願いする。海難事故の発生は全くゼロとは言い切れない。一度大きな船が事故を起こし、洋上風力発電が原因と言われると大変なことになりかねない。自然相手に難しいとは思いますが、十分気を付けた対策をお願いしたい。 【西荒瀬コミュニティ振興会・鈴木委員】 	<p>⇒ 貨物船に限らず、想定海域に風車が建設されれば海難の発生は全くゼロとは言い切れない。事業者が選定された後、当該事業者が主体となり、海域利用者等の関係者と十分な協議の上、安全管理体制の検討を行い、海難を起こさせないルール作りを行うことになっている。酒田海上保安部は、その一員として協議会に参画し、実効ある対策となるよう安全確保に貢献したい。</p> <p>(当日資料記載) 【酒田海上保安部】</p>	

項目	意見・質問（要旨）	対応の方向性（会議での回答含む）	備考
進め方関係	<ul style="list-style-type: none"> 事業を進めるに当たり、会議は回数期限を決めないでやるということで、市民はもちろん、関係団体へ十分な説明をお願いしたい。 【西荒瀬コミュニティ振興会・鈴木委員】 	⇒ 洋上風力発電の導入にあたっては、地域に与える影響や課題を地域住民等も含めて検討していくことが重要なため、本部会を酒田市と一緒に設置した。そのため、まずは部会委員の皆様の御意見をお聞きすることから始めていきたいと考えている。なお、具体的な方法については、酒田市の考えに沿いながら実施していきたいと考えている。【事務局】	
	<ul style="list-style-type: none"> 自治連合会の理念として、子育て支援を挙げている。近年災害が多くなったが、これは我々人間の責任である。原子力発電所という話があるが、それよりもっと先に考えることがあるのではないか、スピードアップして洋上風力を考えてほしい。これからを担う子供たちのためにも、我々、今まで生きてきた人間の責任として進めていきたい。 漁業者から魚が獲れなくなったということは聞いている。風力発電が出来れば、夢かもしれないが魚礁が出来て、素晴らしい魚が獲れる時代が来るのではないか。夢と希望を持った洋上風力発電を前向きに進めていただきたい。 【自治会連合会・阿部委員】 	⇒ 今後とも洋上風力発電と、漁業、地域との共存を目指したいと考えているため、部会委員の皆様の意見を伺いながら、しっかりと取り組んでいきたい。【事務局】	
	<ul style="list-style-type: none"> 想定海域の話の前に、先行利用者である漁業者が駄目だと言ったらこの話は国が止めるというふうに言っているが間違いないか確認したい。 【県漁協・西村委員】 	⇒ 再エネ海域利用法では、協議会構成員の意見を基に議論を進めていくことになるが、協議会意見とりまとめのほか、海域の占用許可を行う際には、利害関係者である漁業者の了解が必要とされている。【事務局】	

項目	意見・質問（要旨）	対応の方向性（会議での回答含む）	備考
	<ul style="list-style-type: none"> 事務局へのお願いとして、資料について、紙媒体で見る必要のある方もいらっしゃるの承知しているが、早めの共有、また SDGs 的観点からもデータでの資料送付をぜひともご検討頂きたい。 【商工会議所・矢野委員】 	<p>⇒ ペーパーレスの件については、委員の希望に応じ、きめ細かく対応させていただくとともに、資料の送付については、できるだけ早めに対応できるよう検討させていただく。（当日回答）【事務局】</p>	
進め方関係	<ul style="list-style-type: none"> 地域共生策、漁業振興策を検討する際、漁業影響調査が同時並行的に行われるが、前提には、漁業の現状調査も含まれる。それを踏まえた上で検討すると良い。 資料3-2に記載の海域の現状把握について、海底の地質状況が非常に重要になってくる。通常、砂質であればモノパイルでの建築が可能だが、地層の途中に岩があったりするとモノパイルは海底面から数十メートル打たないといけないのでやりにくいため、ジャケット式が採用される場合がある。実際、秋田・能代港の港湾区域内ではモノパイル式だが、石狩ではジャケット式が採用されている。海底地質、海底地盤調査は、本格的な設計を行う時に事業者がやるとはいえ、構造形式やレイアウトも漁業影響、漁業協調に関わってくるので、十分に検討した方が良い。 【海洋産業研究・振興協会・中原委員】 	<p>⇒ 今後、地域共生策、漁業振興策の検討を進めるにあたっては、アドバイザーの皆様からのご助言も頂きながら、地元漁業者の皆様と一緒に考えていきたい。【事務局】</p> <p>⇒ 現在、酒田市沖では、調査研究事業が進められているため、漁業者や関係者の皆様と情報共有しながら進めていきたい。【事務局】</p>	

項目	意見・質問（要旨）	対応の方向性（会議での回答含む）	備考
進め方関係	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールについて、2月末までに議論のまとめと記載あるが、それに対して議論が特に出ておらず、あまり違和感なく受け入れられたのかなと感じた。酒田港の利用や漁業調整・地域振興を考えると、遊佐町沖と酒田市沖を一体で考えていくことが必要になってくる。そうした中で、スケジュール感について、納得いくまできちんと説明があり、議論するというのは基本だが、一方で、遊佐が先行しており、酒田があまり遅れると、一体的な検討をしていきたいと思いますという方針に対して、齟齬をきたすことにならないとも限らない。その点も念頭に置きながら、事務局はスケジュールを進めてほしいし、委員の方、地元の方はそういったことを念頭に参加していただきたい。 <p>【県エネルギー対策総合アドバイザー・山家委員】</p>	<p>⇒ 今後とも洋上風力発電と、漁業、地域との共存を目指したいと考えているため、部会委員の皆様の意見を伺いながら、しっかりと取り組んでいきたい。【事務局】（再掲）</p>	